

# 令和3年度文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—

## ワークショップ実施計画書【コロナ対応版】

制作団体名	有限会社 マジスティック
公演団体名	平富恵スペイン舞踊団

内容
<p>学校のご要望に応じ、1コマ目の座学的な学習内容を、ビデオ教材にて事前に各教室で学習してもらうことが可能。 密対策については、応相談可能。</p> <p>【ごあいさつ・文化の違い】 スペインについての簡単なQ&amp;Aの実施。映像を用いたスペイン文化・舞踊の紹介。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ スペインの街並み / 文化紹介</li><li>・ スペイン人から見た日本とは？ / スペイン舞踊・種類の紹介</li></ul> <p>【フラメンコの解説】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 「フラメンコ」とは何か？踊り・音楽・歌？（音楽試聴&amp;クイズ方式）</li><li>・ 「フラメンコの起源と歴史」をスライドを中心に解説。<ul style="list-style-type: none"><li>➢ フラメンコの曲は、リズムとメロディーによって区別され、曲の形式や意味がある等。</li><li>➢ フラメンコはどのようにして起こったのか？（最重要ポイント）</li></ul></li><li>・ フラメンコの歌、ギター、踊りの実演。</li></ul> <p>【体験コーナー】 *全て解説とデモンストレーション有り</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ パルマ（手拍子）/表・裏拍、アクセントの取り方の体験。（フラメンコ特有）</li><li>・ サパテアード（足打ち）/足の打ち方主な4種類を実際に体験。代表生徒は専用シューズを履き舞台上で、他の生徒も全員立って実際に体験。</li><li>・ ルンバ（足打ちダンス）/足打ち、手拍子、回転、ステップ等による簡単な振付に挑戦。</li><li>・ カスタネット/音楽で使うカスタネットと踊り用の違いを説明。カスタネットを打ちながら、足打ち&amp;ターン&amp;ポーズでフィニッシュ。</li><li>・ カホン/四角い木製のリズム楽器を実際に体験。</li><li>・ ハレオ/フラメンコにはハレオという掛け声があり、どういうタイミングでどのように掛け声をかけたらよいのか、一緒に声出しを体験（*コロナ禍、説明のみ）</li></ul>

タイムスケジュール（標準）
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 学習ビデオの送付→各教室にて視聴</li><li>・ 学校到着→体育館にて準備</li><li>・ 1コマ目：体験1クラス目(グループに分かれ、全員が全種目を体験する)</li><li>・ 2コマ目：体験2クラス目(グループに分かれ、全員が全種目を体験する)</li><li>・ 本公演に参加する代表児童の振付・練習</li><li>・ 体育館片付け→担当の先生との本公演に向けた打ち合わせ</li></ul>

**派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください**

6名（主指導者：1名、演奏家：1名、補助指導者（舞踊家、舞台監督）：4名）

**学校における事前指導**

事前に送付するビデオにて、各教室にて、スペインの文化・フラメンコの知識を各教室にて学ぶ。足打ち・パルマ（手拍子）の体験を、ビデオと一緒に行う。

ワークショップ実施に当たっては、グループ別体験のための、グループ分けを先生に依頼。服装は動きやすい体育着着用を推奨。必要に応じて、水筒・タオルなど持参を指示。

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—

本公演実施計画書【コロナ対応版】

制作団体名	有限会社 マジスティック
公演団体名	平富恵スペイン舞踊団

演目
<p>1. <u>マラゲーニャ</u>：作曲家レクオーナの名曲。スペイン各地をテーマにした組曲「アンダルシア」の中で最も愛される曲。</p> <p>2. <u>サパテアード</u>：サラサーテの名作。題名が示すようにサパテアード（靴音）のみで、リズムを創り出し、ダイナミックに盛り上げる。</p> <p><b>【スペイン舞踊&amp;カスタネット解説】</b> 「スペイン舞踊」と「フラメンコ」の違いを解説。カスタネットのデモンストレーション。</p> <p>3. <u>アラゴネサ</u>：作曲家ビゼーの「カルメン」より。情熱的な女性「カルメン」組曲として親しまれている名曲。</p> <p><b>【フラメンコの解説&amp;体験コーナー】</b> フラメンコの成立ちの解説。ギタリスト、歌手、打楽器奏者のデモンストレーション。児童生徒の皆さんは実際に手拍子パルマ、足打ちダンスを体験。</p> <p>4. <u>ムヘレス</u>：スペインの大作曲家ファリャの名曲「はかなき人生」にのせて、ムヘレス（女性たち）の様々な生き方を表した作品。</p> <p>5. <u>タクトウタ</u>：フラメンコ発祥の起源と言われるインドのタブラ音楽にのせ“人の矛盾”を表す。</p> <p>6. <u>デリリオス・イベリコ</u>：静寂の中から、突如爆音が響き、カスタネットを持った踊り手たちが、次々スペイン舞踊を颯爽と踊る。続いて、曲はパルマに導かれ、徐々にフラメンコのリズムに変化する。</p> <p>7. <u>リトモ・イ・コンパス</u>：フラメンコ最重要曲であるシギリージャ。カホン（リズム楽器）とカスタネットの絶妙な掛け合いに注目！</p> <p>8. <u>ファンタシア</u>：扇子で優雅にグアヒーラを舞う女性たち。突然表れたいたずら青年が魔法をかけるとたちまち皆の動きは止まる。しかし、面白がっていた魔法使いの最後の運命は…。 “恋” “いたずら” “逆転劇” などファンタジックな物語を想像させる人気の演出。</p> <p>9. <u>ヴェラ・デ・サンタ・アナ</u>：帽子で踊る粋な曲ガロティン。70年代アンダルシアのエッセンスの上に、現代の感覚をちりばめ、様々な次代の融合を採った意欲作。</p> <p>10. <u>アレグリアス</u>：スペイン南端カディス発祥のカンテ・アレグレ（明るい歌）を代表する曲。港町の美しい情景を彷彿させるフラメンコならではの明るく楽しい曲。</p> <p>11. <u>わくわく・de・フィエスタ</u>：児童・生徒代表の晴れ舞台。「ルンバ」の名曲でパフォーマンスを披露。その後、生の演奏にて、会場全員が立って踊り、楽しくフィナーレを飾る。</p> <p>※スタッフは、全員マスク着用にて本番を実施。 ※学校の希望によっては、出演者もマスクを着用することも可能。 ※代表児童・生徒の皆さんとのリハーサル・パフォーマンス時には、舞踊団メンバーはフェイスシールド（場合によってはマスク）を着用。</p>

**派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください**

30名（出演者：12名、スタッフ：18名）

**タイムスケジュール（標準）**

前日仕込み(有・無) 会場設営の所要時間( 3時間程度 )

到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
8時	8時～11時	14時～15時45分	15分	16時～18時	18時半

→仕込み終了後から公演まではリハーサルを行う。

※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度。

**実施校への協力依頼人員**

代表の児童・生徒：約15名(カホン：7名、ダンス：8～10名程度)

**演目解説**

はじめは、暗闇から幻想的な照明と、ミステリアスな音楽と声が聴こえ、一気に場内を舞台の世界へと引き込んでいく。

森の自然が描かれた舞台上のパネルが開くと、突如舞踊家が姿をあらわす。

導入として、壮大なスペイン舞踊を、伝統的な正装スタイルのドレスにショールとカスタネットを用い披露。以降、様々なアイテムや衣装で、バラエティに富んだスペイン舞踊の主要なスタイルのほぼ全てを鑑賞できるように上演する。

途中、フラメンコについての解説をはさみ、児童・生徒さんは、実際にパルマ（手拍子）とハレオ（かけ声「Ole!」の発声）、足打ちやダンスを体験。

また音楽コーナーでは、プロのミュージシャンがわかりやすく実演&解説をする。

後半はスペイン舞踊を古典的からモダンなものに移る流れで上演。

フラメンコにおいて、特に重要なナンバーを選曲し、ギター・歌・舞踊が持つ独特の迫力と醍醐味を実際に味わってもらおう。全体を通し、スペイン舞踊の過去から現在への時間的・形式的な変遷を感じられるプログラムとなっている。

各曲にそれぞれテーマを持たせ（「夢」「絆」「愛」「人生」など）、低学年でも決して飽きることなく鑑賞できる。また「人間模様」をテーマにした大人向けの曲もそのまま配置し、物語を想像する力を養う。児童・生徒さんの感性を刺激する演目を上演。

最後は、代表の児童・生徒の舞台パフォーマンスと、生演奏をバックに全員でのアンコールダンスを体験し、みる・きく・やってみると五感をフル活動させる内容となっている。

### 児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

踊りだけではなく、ギター・うた・カホンなどの音楽や、スペイン文化・スペイン語等の国際教養分野、衣装・舞台美術・照明等のデザインの分野など、様々な視点から公演を楽しむ仕掛けを用意。

代表児童・生徒さんには、公演の締め括りとして、実際に楽器演奏とフラメンコの踊りを披露してもらう。衣裳や髪飾りを身に付け、生演奏をバックに、ライトを浴び舞台上で表現をします。アンコールには、観客席の全生徒も一緒になり、プロの演奏にのせ、ダンスを踊り、盛り上がります。

※学校の希望によっては、代表児童が衣装着用しない場合もあり

### 児童生徒とのふれあい

本公演では、パルマ（手拍子）、ハレオ（かけ声＊コロナ禍は説明のみ）、足打ち、足打ちダンスに全員参加。

これを活かし後半最後の演目「わくわく・de・フィエスタ」で、代表児童・生徒さんが舞台上で、カホンとダンスのパフォーマンスを披露する。

その後、全児童・生徒の皆さんも参加し、生演奏を背景に足打ち＆手拍子ダンスでフィナーレを飾る。

本公演後にいただいた質問・感想文等にはフィードバックを実施。